

平成30年4月～9月

かてい

平成30年10月末日発行

学園短信 一歩ずつ、着実に。

お待たせ致しました！ 今号は、平成30年度上半期の家庭学園の様子をお伝えしたいと思います。

巻頭言

元学園職員・フラワーアレンジメント講座

ボランティア 青木悦子先生

■横浜家庭学園での熱き日々

今から六〇年ほど前、私が大学生のころ、キリストの教えに出会い洗礼を受けました。卒業と同時に結婚。同じ年の九月に横浜家庭学園に教師として就職しました。

横浜家庭学園は創立者の四朗郎助氏および二代目理事長の純彦園長の、聖書に基づく教育方針の未成年者保護施設であり、私にとって最適最高の職場と考えました。人間的にも社会的にも弱者にこそキリストの救いと癒しが必要と考えていました。当時は生徒が常時一四〇～一五〇名ほどで家族舎は八家庭。一家庭に一七～一八名が生活していました。

私は小学生のクラス担任で、四～六年生まで一四五名に全教科を複式で教え、他に中学生の数学と全生徒に体育のダンスの指導もしていました。小学生はまだしも身長も体力も私を上回る中学生は、実習生による体育指導など整列ひとつするにも意のままにならず、特に運動会前は入場行進やダンス指導など、広いグラウンドで精根尽き果てたものです。生徒たちはあどけない少女ではあるものの、いずれも各学校に一人と言われる札付きの強者揃いでしたので、園内では毎日のように集団での無断外出や先生と生徒、生徒間の諍いや争いなどで事件や事故が発生し、昼夜を問わず職員たちは対応に追われていました。誰かが肥溜めに落ちこちて園中が大騒ぎとなったり、先生が大勢の先生に引きずられ無理

矢理プールに投げ込まれたり…。学園中は良くも悪くも毎日が活気に満ち溢れ、生徒や先生の喜怒哀楽に満ちた声が園中に響き渡っていました。

その中で私が信条としていたのは、「たとえ信じられなくても、それでも信じていること。」「それが信頼関係を生む第一歩であることです。一定の関係性ができた生徒にお金を預けて郵便局のお使いや買い物頼みます。その彼女が約束を破ったら当時新任の私は職員会議で吊し上げられることはお互いに承知のことでしたが、この件で私が失敗したことは一度もありませんでした。

特に記憶に深いT子。彼女は中学三年生で成績も良く運動神経も抜群。仲間たちからも人望があり、リーダー的な存在で私たち職員は福井県にある国立の寮制学校への進学手続きを進めていましたが、退園と聞いて急に現れた親が半ば強引に引き取り退園となりました。その後、就職し私の自宅にも何度か遊びに来て泊まっていたりしましたがが久しく音信が絶えたと思ったところに耳にしたのは若すぎるT子の自殺の知らせでした。何の支えにもなれなかった自分のふがいなき、「もう一度会って話したかった。」という思いと、彼女の結末に悔しさと悲しみの涙が止まりませんでした。

その後、学園を退職し四人の子供を育てながらフラワーデザインの仕事を始めましたが、今から四年ほど前、当時の教え子から誘いを受け、家庭学園のクリスマス礼拝へ出席しました。

そこで五〇数年ぶりに教え子三名と再会。みんな立派に成長、というよりも還暦を迎えて堂々たる伯

オバさんになっていました。三人のうち一人は介護士に、一人は看護師に、一人はヘルパーに…。

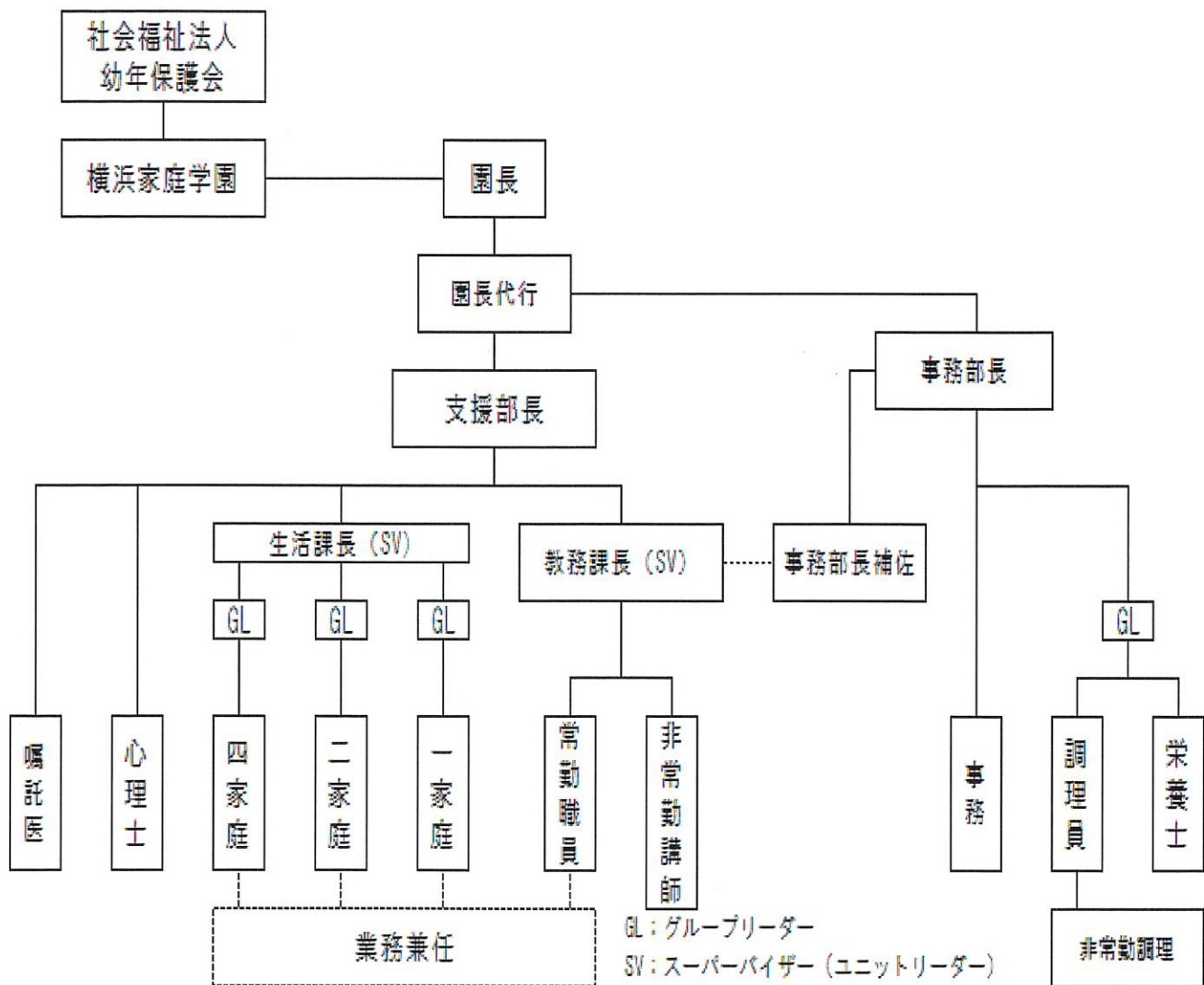
この再会を機に当時の小学生が連絡を取り合い七名が集まって、都内の有名なホテルのディナーに私を招待してくれました。そこでは各人の生い立ちや学園時代の昔話に花が咲きました。そこで彼女たちが学園時代に朝晩暗記された聖句「神はそのひとり子を賜ったほどにこの世を愛してくださいました」などと涙みなく暗唱してみせ、「これまでの長い人生の中で幾度かこれらの聖句に励まされ、決して孤独ではなかったのだ」と感謝しましたこと喜びと感動を覚えました。

それから、かねてからの願いであった学園でのフラワーデザインのボランティアをすることとなりました。教え子の一人はアシスタントを務めてくれたりしました。

現在でも月に一度のボランティアレッスンを続けさせていただいています。私が働いていた時と比べて園内で生活する児童が少ないのはその分だけ世の中が良くなり喜ばしいと受け止めて良いのでしょうか？それとも世の中と学園の差がなくなりつつあるのでしょうか？

この先、世の中がさらに競争社会になれば、弱者が振り落とされ格差が広がるのは明らかです。その最初の犠牲者となる子供や弱者への支えになることに目覚めた福祉関係者は心優しい人、信仰者は神に託された人たちです。私たち当事者の深い思想や人生観、強い信仰こそが時代を支え先導していく力になると信じています。

平成三〇年度 横浜家庭学園組織図



平成30年度より主任制から部課長制へと移行し、寮舎担当と教務担当の業務を兼任することとしました。また、平成30年1月より1寮舎が新たに開設し、2寮舎体制から3寮舎体制となりました。

このコーナーでは、今年度四月から園内外で行われた行事の様子をご紹介します。

残念ながらスペースの関係で全てを掲載することはできませんでしたが、家庭学園の生活の様子を少しでも感じていただけたらと思います！

●お花見・BBQ(四月一日)

新学期初日の良く晴れたお昼に開催。

自己紹介コーナーでは、それぞれ自分が今年頑張りたいことを高らかに(恥ずかしがりながら)宣言していました。今年度末に振り返ってみて、目標を達成できた人が何人いるか楽しみです。



↓ 毎年恒例、GWのプール掃除(まる1日使います!)

●運動会(五月四日)

例年は家族対抗が運動会の基本ですが、家族舎の人数にばらつきがあったため、今年は紅白チームに分かれて戦いました。

中でも一番盛り上がったのは、職員v.s. 児童対抗リレー。子どもチーム・男性職員チーム・女性職員チームの三チームに分かれてバトンをつないでいきます。子どもは全員参加、お互いに一切手加減なしのガチンコバトル! これが結構きつい...

勝負なので当然勝ち負けもありましたが、皆が協力し全力を出して戦い抜くことができました。

●春季遠足 @神奈川県大山(六月一日)

去年は都内の日の出山へ登りましたが、今年は県内の大山へ登りました。実施するか中止するか...と判断に迷うような天候でしたが、何とか実施することができました。昨年と同じで雨天の行軍となり、山頂ではなく中腹で食事を取るようになりました。その中でも数名の児童が「山頂へ!」と強く希望したため、その児童たちと男性職員が山頂まで登りました。たくましいですね!

●海水浴 @神奈川県三崎海岸(七月三日)

よく晴れた七月の日、三浦海岸に海水浴へ。アグレッシブな男性職員と一緒に飛び込みへ挑戦する児童や、懇意にしている職員と一緒に浮き輪に浮かんでいる児童、釣りに挑戦する児童、岩場の生き物を興味津々に観察する児童...。それぞれ楽しく海辺の時間を過ごしました。



↑ 移動途中のSAにて記念撮影



↑ちゃんと勉強もしてきました!

●実習科スクーリング @静岡県伊豆半島

(七月一七〜一九日)

実習科(通信制高校在籍者)の単位履修の一環として、静岡県の伊豆半島の宿泊施設にてスクーリングを行いました。三日間の日程の中では座学はもちろん、フィールドワークとして伊豆の大自然を目いっぱい体験したり、伝統工芸のつるし雛作りに挑戦したりしてきました。

様々なプログラムを体験し、帰りのバスから降りてきたときの充実感いっぱいの児童たちの表情が印象的でした。

●夏祭り @家庭学園(八月十一日)

園内では少し珍しい楽しい行事。今年は児童が企画を考えて、そこに職員が担当として付く形で当日の内容を相談しながら決めました。当日は午前中にプール遊びの企画で大はしゃぎ。午後は職員が提供する出店で当日限定通貨を握りしめながら、「何を食べようか、いやこれを食べたら、むむむ」と悩みながら各々好きなものを買って求めています。

●野球観戦 @横浜スタジアム(八月一七日)

この行事も毎年恒例になりつつある、大人気の行事です。今年は天気も良く、当日の試合展開はニュースでも取り上げられるほどの逆転劇で、児童だけでなく職員まで大興奮でした。

最近では横浜DeNAベイスターズ以外の応援すると児童に叱られます…

●ソフトボール大会(八月六・七日)

昨年は児童の人数が足りず参加することができませんでしたが、今年は何とかメンバーが揃いました。新進気鋭の二・三年目の野球・ソフトボール経験者の職員二名が指揮を執り、水泳の練習と並行して小中学生を中心に練習に励んできました。

結果は惜しくも二回戦敗退となりましたが、おっとりした子がバシバシ三振を取ったり、なかなかみんなと一緒に生活することが出来なかつた子がキャンプテンを務め、大きな声を出しながらチームをまとめたりと、児童たちの成長した姿を見ることができました。

●一〇〇本まつり(八月一〇日)

これぞ、我ら横浜家庭学園の伝統行事!

五〇mを参加者全員で数えながら一〇〇本、四泳法を駆使して達成を目指すかなり過酷なイベントです。数年前まで泣きながら参加していた児童が、他の児童たちを率いるように先頭をきつて泳ぐ姿に万感を覚えます。お疲れ様でした!

●関東水泳大会 @栃木県(八月二四日)

夏休みの終わり、関東の児童自立支援施設が集まり関東水泳大会が行われました。オープン参加を含め選手に選ばれた児童たちは、一生懸命最後まであきらめずに泳ぎ切ることができました。

全体では二位と悔しい結果でしたが、自分のベストタイムを出すことが出来て涙している児童もいて、とてもいい経験になりました。

●キャンプ @道志川(八月二七日)

キャンプ特別企画 @三笠公園・城ヶ島公園

待ちに待った道志川にキャンプ!

着いてすぐに事前に立て方を練習していたテントを立てて、皆で手分けしてお昼ご飯を作っていました。川の流れが急で、入ることは出来ませんが、それぞれ用意したスタンプ、歌、劇、ダンスなど楽しんで発表することが出来ました。

翌日は雨だったため、テントを片付け園に帰ることを決意。二九日にはキャンプの代わりとして、三笠公園・城ヶ島公園に遊びに行きました。城ヶ島公園では、変装や、草むらに隠れたりなどしている男

性職員を探すスタンプラリーを行いました。毎日顔を合わせて生活しているのですが、変装して隠れている職員もいて、スタンプラリーで見つけたときの児童たちはとてもうれしそうでした。



↑ キャンプの1コマ。
「夏フェス」でダンスを披露中!

●BBQ 伊勢佐木ライオンズ寄付行事

(九月二日)

昨年に引き続き、伊勢佐木ライオンズ様からBBQの寄付行事がありました。メニューはなんと、大きいドラム缶を使って調理した、ローストビーフ、ローストポーク、かき氷、綿あめ、ぜんざい、おにぎり! BBQのソースにまでこだわった味は、最高の思い出になりました。また初めてBBQをやった児童もいて、またすぐにやりたいと毎日お願いしてくるほどでした。

伊勢佐木ライオンズ様、ありがとうございました。



上がりました!

ソフトボール風景

夏休みの最後、「夏の思い出」というテーマで児童たちが作文を書きました。児童の作文を読むと、夏休みを通して彼女たちが様々な経験をしてきたことを感じます。その全てをご紹介できないのが残念ですが、一部をここに掲載致しますので、是非お読み下さい！

夏休みの思い出

中一 みな

私の夏休みの思い出は、四つあります。まず一つめは、ソフトボール大会です。どうしてかというところ、初めてのソフトボールをしたのしかつたけどまけちゃって、くやしいおもいをしたからです。なので来年は、がんばって、ゆうしようしたいとおもっています。

二つめは、キャンプです。キャンプでのおもいでは、みんなのきずながふかまったこととガールズ・モンキー（注：班名）のみんなとねたことです。どうしてこのおもいでにしたかというところ、みんなキャンプをとおしてなかくよくなったんじゃないかなとおもいました。

三つめは、関東水泳大会です。私は、選手じゃなかったけど学園が二位でとてもうれしかったです。来年は、選手になれるようにがんばりたいです。

四つめは、ベイスタースのやきゅうかんせんです。私がかきゅうかんせんを「ころ」にのこったのが、ベイスタースかんとくと写真をとったことです。

夏休みの思い出

中三 ひなの

夏休みの思い出は……二五m一〇〇本の水泳です。ぜんぶバタ足です！つかれてないけど……足が筋肉つうになり……クリア。ソフトボール大会です。結果は……負けてしまいました。第二の本番の一〇〇本まつりでした。一〇〇本およぎきつたのです。夏祭りには、ジュースを配る役でした。すんごいたのしかつたです。キャンプリハールは、カレーをまぜました。バーバちゃん（注：職員名）におしえてもらいました。平和学習のえいがは、かなしかつたです。図書館に行きました。二冊かりました。関東水泳大会でした。ずーっとおうえんしてました。みんなおつかれ様でした。陶芸教室やりました。ヘタクソにできあがりしました。（まだだけど……）

楽しかった夏休み

中三 みれい

今年の夏は学園で初めて迎える夏でした。初め頃は、一〇〇本祭りもあって、スポーツばつかで嫌だったけど、過ぎていくうちにどんどん楽しいイベントがあつて途中からはすごく楽しめました。

ソフトボールが終わつてからはスポーツは水泳だけになりました。おかげで記憶に残つてるのはテスト勉強と水泳だけです。関東水泳大会では、オープンの五〇mフリーに選ばれて大会で泳ぐことができました。学園の人しか五〇mフリーに出ていなかった

ただ二位で賞状をもらったのが、すごくうれしくて、終わったあと嬉し泣きしたのが思い出です。一〇〇本祭りをやったり日々の水泳もがんばつたのが報われた気がしました。まだ、他のスポーツ大会もあるので練習ががんばって、良い思い出になるようにしたいです。

夏休み最後のイベントのキャンプでは、班長に選ばれてしまいました。決まった時は、信じたくなかつたし、キャンプに行くの嫌だなーって思いました。でも、キャンプの班でキャンプリハをしたり、料理講座をやるうちに、同じ班の人が教えてくれたりしてもらえたので、班長として上手くやっていける自信が少し持てました。キャンプ中も同じ班の人がすぐ並んでくれたり、ご飯作るときも協力して行えたのが、すごく安心しました。班の人の協力もあり、キャンプは良い思い出になりました。

夏休みは、八月で終わり九月からは学科が始まります。苦手な教科の授業でも集中して受けて、学園のテストでも満点をとれるように自習をコツコツこれからも続けようと思います。今年受験生なので気を抜かず、学科でもスポーツでも一生懸命取り組みます。



※注
児童の文章は、誤字以外は修正せずそのままのものを載せています。

- 四月 始業式・花見
- 五月 春季運動会・潮干狩り・中間試験
- 六月 県卓球大会・春季遠足
- 七月 期末試験・七夕・海水浴・終業式
一〇〇祭り(二十五m)
- 八月 ソフトボール大会・高認試験
一〇〇祭り(五〇m)・夏祭り・キャンプ
野球観戦・水泳大会(県〈関東〉)
- 九月 始業式・寄附行事(ライオンズクラブ様)
- 十月 中間試験・バレーボール大会・秋季遠足
- 十一月 関東文化祭・高認試験・駅伝大会
- 十二月 期末試験・終業式・餅つき・大掃除
クリスマス礼拝・のど自慢大会
- 一月 元旦礼拝・書き初め
夢育書道展・送別マラソン大会
- 二月 あすなろ交歓会・感謝祭
- 三月 学年末テスト・修学旅行(小六〈中三〉)
修了式・卒業式

編集後記

平成三〇年度が始まって半年が経過し、ようやく今年度第一号の発行となりました。平成三〇年度の広報研修委員会はメンバーの入れ替えもなく、昨年度と同じ五名で活動しております。

たまたま同じメンバーとなったのか、園長をはじめとした幹部職員の壮大な構想に拠るものなのか我々には知る由もありませんが、全員が二〇代のフレッシュな委員会であります。

今年度の取り組みとして、昨年度と同様に本広報誌発行やHP上のブログの更新に加えて、「広報研修委員会」という冠の「研修」の実行部隊として園内研修や自主勉強会の実施のためのテーマ探しを行っていくこととしていきます。(と言いつつこの記事を書きながら我々の課された役割の多さと、編集作業に悪戦苦闘しているPCスキルの未熟さに戦々恐々としております…)

ともあれ、この広報誌を手にとってくださる皆様やHPのブログを見て下さる方々からいただく感想や、教室に張り出された本紙記事を児童たちが読んだときの嬉しそうな顔を活力に前向きに取り組んでまいります！今年度もどうぞよろしくお願いたします。

「かてい二十号」編集委員会

扇澤・北口・宅島・野村・松浦

平成30年度在籍状況(平成30年10月1日現在)

| | 横浜市 | 神奈川県 | 川崎市 | 相模原市 | 横須賀市 | 他県 | 合計 |
|------------|-----|------|-----|------|------|----|----|
| 30年度定員 | 5 | 8 | 2 | 2 | 1 | 0 | 18 |
| 30年10月1日現在 | 6 | 9 | 1 | 2 | 0 | 1 | 19 |

社会福祉法人 幼年保護会 横浜家庭学園

神奈川県横浜市保土ヶ谷区釜台町18番1号

電話：045-331-5884 FAX：045-331-5013

ホームページ：<https://www.yokohamakateigakuen.org/>